



ユーザーガイド

ヘッドホン

YH-C3000

JA

目次

はじめにお読みください 3

本製品の特長	3
マニュアルについて	4
付属品の確認と各部の名称	5
収納方法	7

接続 8

ヘッドホンとヘッドホンケーブルの接続	8
オーディオ機器との接続	9

装着 11

ヘッドホンの装着	11
----------------	----

お手入れ 13

ヘッドホンのお手入れ	13
アクセサリーのお手入れ	15

困ったときは 16

ご確認ください	16
アフターサービス	17

資料 18

仕様	18
オプション品（別売）一覧	20
イヤープッドの交換	21

はじめにお読みください

本製品の特長

本製品は、ヘッドホンアンプなどのオーディオ機器と有線接続して使用するヘッドホンです。

深く長く音楽に没入するために

自分だけの世界に入り、いつまでも好きな音楽とつながり続ける。

そのような音体験を目指し、オーディオ機器と楽器を共に知るヤマハだからこそ実現できた密閉型ヘッドホン。

YH-C3000で時を忘れ、心ゆくまで音楽をご堪能ください。

音楽への深い没入を実現した音作り

- ・ 独自開発のアルモダイナミック™ドライバーを搭載することにより、高い応答性と耳馴染みの良さの両立を実現します。
- ・ 木製の楕円ハウジング部には、ピアノにも用いられるビーチ材を使用し、程よい距離の中で一音一音が躍動する自然な没入感を表現します。

音楽と長くつながる装着感

- ・ 頭部に沿って柔らかくフィットする立体縫製のヘッドパッドにより、頭頂部にかかる負担を軽減します。
- ・ 無段階に調整できるスライダーにより、フィット感の細かな調整が可能です。
- ・ 高耐久プロテインレザーと低反発ウレタンを用いたイヤーパッドや高剛性アルミハンガーにより、心地よく安定性のある装着感を実現します。

デザイン

木製ハウジングはグロス仕上げの美しさを引き立てる滑らかな曲面造形を採用しています。楽器を彷彿とさせるそのデザインは、音楽体験を深化させます。

さらに詳しく

<https://yamaha.io/yh-c3000>

* ARMODYNAMIC™

「ARMODYNAMIC」、「アルモダイナミック」は、ヤマハ株式会社の登録商標です。

マニュアルについて

本製品をお使いになる方を対象として、3種類のマニュアル（セーフティーガイド、クイックガイド、ユーザーガイド）をご用意しています。各マニュアルを必ずお読みいただき、製品同梱のマニュアルはいつでも見られるところに大切に保管してください。

マニュアルの種類

セーフティーガイド（同梱）

製品をお使いいただくときに必要な「安全上のご注意」について説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

巻末に「保証とアフターサービス」「保証書」「お問い合わせ窓口」を記載しています。

クイックガイド（同梱）

ご購入後、すぐにお使いいただくための操作をイラストで説明しています。

ユーザーガイド（本ガイド）

すべての機能について説明しています。本ガイドはウェブサイトのみでのご提供となります。

- ・ 本ガイドでは注意事項などを次のように分類しています。

- ・ **注意**

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

- ・ **ご注意**

製品の故障、損傷や誤動作を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

- ・ **お知らせ**

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

お知らせ

- ・ 本ガイドは発行時点の最新仕様で説明をしています。
- ・ 各ガイドの最新版（PDF）は次のウェブサイトでダウンロードできます。
<https://download.yamaha.com/>

付属品の確認と各部の名称

本製品の付属品と各部の名称は次のとおりです。

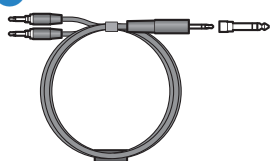
ご注意

- ・本製品には強力な磁石が使われています。磁気の影響を受けるものを本製品の近くに置かないようにしてください。
- ・時計、キャッシュカードなど：データを損傷または破壊の原因になります。
- ・クリップやネジなどの金属部品：本製品の損傷または故障の原因になります。
- ・本製品に使われている振動板は衝撃に弱いため、本製品を落したり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障のおそれがあります。

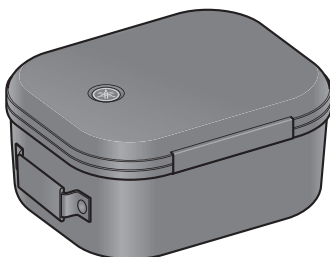
■ 付属品

付属品がすべてそろっていることを確認してください。

1



2



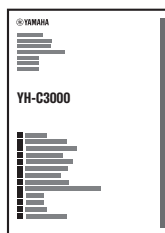
3



4



5



- ① ヘッドホンケーブル（3.5 mm 3極プラグ）2 m
（6.3 mm 変換プラグ付き）

- ② キャリングケース

はじめにお読みください> 付属品の確認と各部の名称

- ③ クリーニングクロス
- ④ クイックガイド
- ⑤ セーフティーガイド

■ 各部の名称



- ① ヘッドバンド
- ② ヘッドパッド
- ③ スライダー
- ④ 接続端子 (L)、(R)
- ⑤ ハウジング
- ⑥ イヤーパッド

関連リンク

「オプション品 (別売) 一覧」 (20ページ)

収納方法

本製品を使わないときや持ち運びの際は、付属のキャリングケースに収納できます。
未永く本製品をご愛用いただくために、お手入れをしてから収納することをおすすめします。



プラグ部分の保護のため、
ポケット内部へ収納してください。

ご注意

- ケース内側の布地が浮き上がっている場合は、布を優しく上からおさえてからヘッドホンを正しい位置に収納してください。ヘッドホンが正しい位置に収納されていない状態で、無理にファスナーを閉めると本製品や内容物の破損の原因になります。
- ファスナーの開閉時は、ケース内側の布地のはさみ込みにご注意ください。破損の原因になります。

接続

ヘッドホンとヘッドホンケーブルの接続

付属のヘッドホンケーブルをヘッドホンに接続します。



ヘッドホンとケーブルの L（左）と R（右）を確認して、接続端子の奥までしっかり差し込みます。

ご注意

- ケーブルは必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。ケーブルを強く引っ張り過ぎると断線するおそれがあります。
- プラグは端子の奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なかったり、途切れたりします。
- 接続端子の極性 L（左）、R（右）を間違えると不自然な音になります。

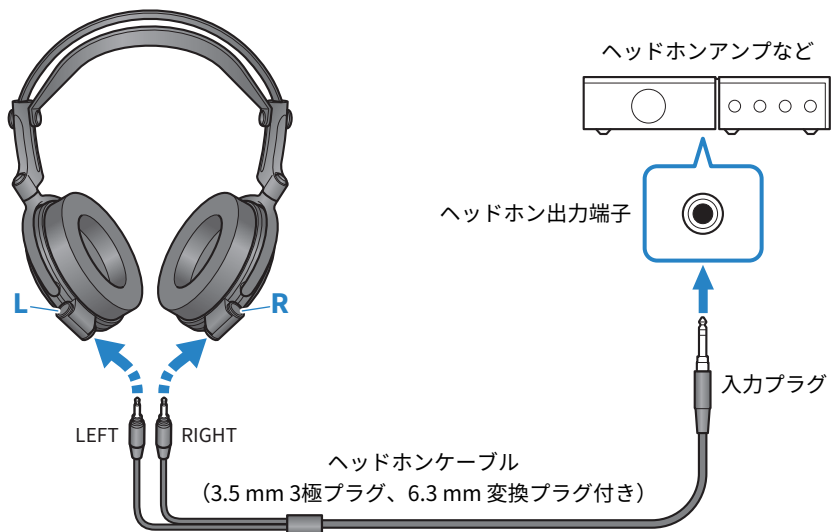
オーディオ機器との接続

付属のヘッドホンケーブルをヘッドホンアンプなどオーディオ機器と接続します。



注意

- 接続する前に、必ず接続機器の音量（ボリューム）を下げてください。
聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



付属のヘッドホンケーブルを接続機器のヘッドホン出力端子に奥までしっかり差し込みます。

6.3 mm 変換プラグの使い方

- $\phi 6.3$ mmのヘッドホン出力端子に接続する場合



- 先端の変換プラグを取り付けたままお使いください。

- $\phi 3.5$ mmのヘッドホン出力端子に接続する場合



- 先端の変換プラグを取り外してお使いください。



注意

誤飲防止のため、取り外した変換プラグはお子様手の届かないところに保管してください。

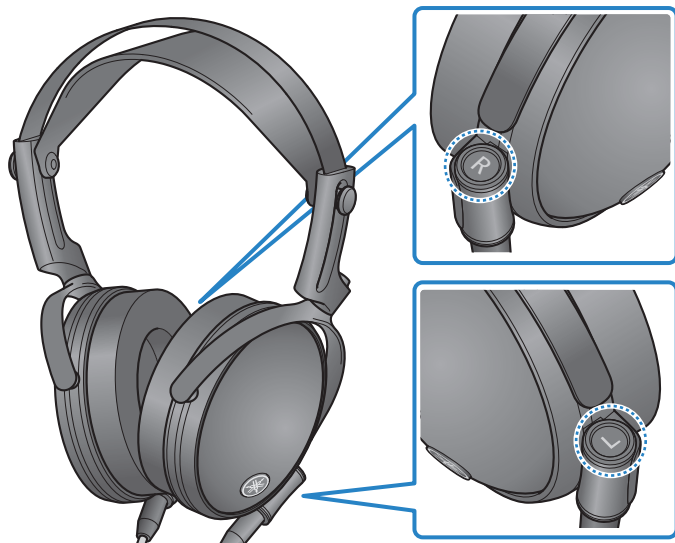
お知らせ

- 付属のケーブル、変換プラグはヘッドホン専用です。
- ケーブルは必ず接続機器のヘッドホン出力端子へ接続してください。
- ケーブルは必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。ケーブルを強く引っ張り過ぎると断線するおそれがあります。
- プラグは端子の奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なかったり、途切れたりします。
- 接続する際は、接続機器の取扱説明書もあわせて参照してください。

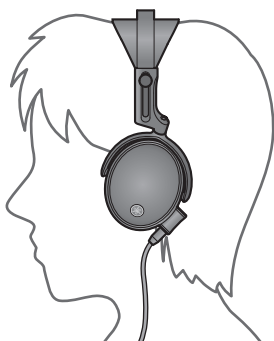
装着

ヘッドホンの装着

Lのマークが付いている方を左の耳に、Rのマークが付いている方を右の耳に装着します。



耳全体を覆うように装着してください。



スライダーで頭のサイズに合わせて装着位置を調整します。



ご注意

- スライダーの可動部で指や髪の毛をはさまないように、ご注意ください。
- スライダーの可動部を無理に引っ張らないでください。故障の原因になります。

お手入れ

ヘッドホンのお手入れ

本製品を長くお使いいただくためにも、定期的なお手入れをおすすめします。

日頃のお手入れ

- お手入れのときは、必ず本製品と接続機器からヘッドホンケーブルを抜いてください。故障の原因になります。
- お手入れのときは、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきん、アルコール成分を含んだ消毒液などで製品の表面を拭かないでください。変色・変質の原因になります。
- サビや変形を防止するために、製品は常に乾燥した状態に保ち、著しく低温または高温の場所には置かないでください。
- ドライヤーや暖房などの熱風をあてないでください。
- 長時間直射日光にあてないでください。
- ドライバーユニットに息を吹きかけないでください。ユニット内部の振動板の故障や破損の原因になります。
- 本製品を使わないときは、付属のキャリングケースに収納して保管してください。

ヘッドバンド

- ヘッドバンドが汚れた場合は、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で乾拭きしてください。
- ヘッドバンドは定期的に拭いてほこりを取り除いてください。

ヘッドパッド

- ヘッドパッドが汚れた場合は、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で乾拭きしてください。アルコール成分を含んだ消毒液などは使用しないでください。
- 整髪料は表面を傷めるため、ヘッドパッドに付いてしまった場合は丁寧に拭き取ってください。
- ヘッドパッドは定期的に拭いてほこりを取り除いてください。

ハウジング

- 付属のクリーニングクロスや柔らかい布で表面にキズがつかないように、やさしく乾拭きしてください。

- ヘッドホンのハウジング部分は天然木を使用しているため、色味や木目などの柄は製品ごとや左右で異なります。また、ご使用の環境や経年変化により、ハウジング表面のなめらかさに変化が発生する場合があります。

イヤーパーッド

- お手入れのときは、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で乾拭きしてください。皮革用クリームや溶剤（シンナー、ベンジン等）、アルコール成分を含んだ消毒液などは使用しないでください。変色・変質の原因になります。
- 整髪料はイヤーパーッドの表面を傷める原因になります。イヤーパーッドに付いてしまった場合は丁寧に拭き取ってください。
- イヤーパーッドは、通常の使用や保存状態でも、経年変化で自然劣化する場合があります。劣化時は早めにイヤーパーッドの交換をおすすめします。

アクセサリーのお手入れ

付属品のお手入れについて説明します。

ケーブル プラグ部分

- 付属のクリーニングクロスや柔らかい布などで軽く拭いてください。

キャリングケース

- お手入れのときは、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、洗剤、化学そうきん、アルコール成分を含んだ消毒液などで製品の表面を拭かないでください。変色・変質の原因になります。
- 通常の使用や保存状態でも、経年変化で自然劣化する場合があります。
- 保管の際は、ビニールなどで密閉しないでください。変形や変色、変質の原因になります。

困ったときは

ご確認ください

ご使用中に本製品が正常に動作しなくなった場合は、次のことを確認してください。

音が出ない

- **ヘッドホンケーブルが正しく接続できていない。**

ヘッドホンケーブルがヘッドホン側とオーディオ機器側の接続端子の奥まで正しく差し込まれているか、確認してください。

・「接続」 (8ページ)

- **音声再生機器側の電源が入っていない。**

接続機器の電源を入れてください。

- **音量が小さい。**

接続機器の音量を上げてください。

- **再生が停止されている。**

再生を開始してください。

音がよくない、音に違和感がある

- **左右 (L/R) 逆に装着している。**

ヘッドホンの L (左) と R (右) を確認し、正しく装着してください。

・「ヘッドホンの装着」 (11ページ)

- **ヘッドホンケーブルをヘッドホンの L (左) 端子と R (右) 端子それぞれ逆に接続している。**

ヘッドホンの L (左) 端子と R (右) 端子を確認し、正しく接続してください。

・「接続」 (8ページ)

- **イヤーパッドが正しく装着されていない。**

イヤーパッドをヘッドホンに正しく取り付けてください。

・「イヤーパッドの交換」 (21ページ)

問題が解決しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。

- ・ 日本国内のお客様

お買い上げ店、または同梱の「セーフティーガイド」掲載の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

- ・ 日本以外の地域のお客様

お近くのヤマハ正規ディーラーまたはサービスセンターまでお問い合わせください。

https://manual.yamaha.com/audio/address_list/

アフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせについて

- 日本国内のお客様
お買い上げ店、または同梱の「セーフティーガイド」掲載の「修理ご相談センター」までお問い合わせください。
- 日本以外の地域のお客様
お近くのヤマハ正規ディーラーまたはサービスセンターまでお問い合わせください。
https://manual.yamaha.com/audio/address_list/

お知らせ

- イヤーパッドは消耗品です。音質を左右する重要な部品ですので、劣化や破損が発生した場合は早めの交換をおすすめします。
- ヘッドホンのドライバーユニットが破損・故障した場合、左右の聴感上の差が発生するおそれがあるため、左右同時に交換することをおすすめします。

資料

仕様

本製品の主な仕様は次のとおりです。

YH-C3000ヘッドホン

- 型式
密閉型／オーバーイヤー
- ドライバー
ダイナミック型
- 再生周波数帯域
5 Hz ～ 55 kHz
- 感度
94 dB/mW (1 kHz時)
- インピーダンス
34 Ω (1 kHz時)
- 質量
約330 g (ケーブルを除き、イヤープッドを含めた場合)
- イヤープッド
PUレザー

付属品

ヘッドホンケーブル (アンバランス接続)

- 長さ
約2 m
- プラグ形状
 - ・ 機器側
3.5 mm 3極プラグ (6.3 mmねじ式変換アダプター付き)
 - ・ ヘッドホン側
3.5 mm 2極プラグ
- 導体材料
銀コートOFC
- 質量
約72 g

キャリングケース

- 外形寸法（幅×高さ×奥行き）

228×130×283 mm

- 質量

約600 g

* 商品の個体差などにより、表記サイズより誤差が生じる場合がございます。

クリーニングクロス

- 寸法

約150×150 mm

- 材質

ポリエステル、ナイロン

* このユーザーガイドでは、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版のユーザーガイドは、ヤマハウェブサイトをご覧ください。

オプション品（別売）一覧

本製品に対応するオプション品として、以下の製品を別途ご購入いただけます。

- HUC-SC020 ヘッドホンアンバランスケーブル
- HBC-SC020 ヘッドホンバランスケーブル
- HXC-SC020 ヘッドホンXLRケーブル
- HXC-SC030 ヘッドホンXLRケーブル
- HST-5000 ヘッドホンスタンド
- CCS-5000 キャリングケース（付属品と同一品）

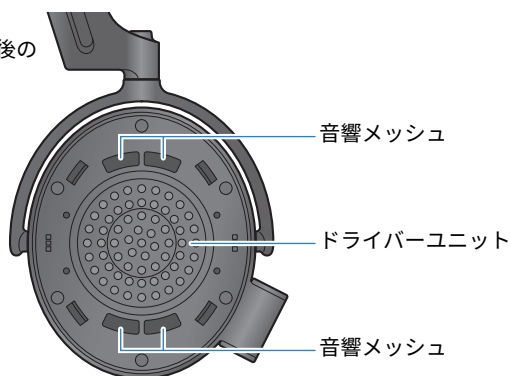
イヤーパッドの交換

イヤーパッドの交換方法を説明します。

ご注意

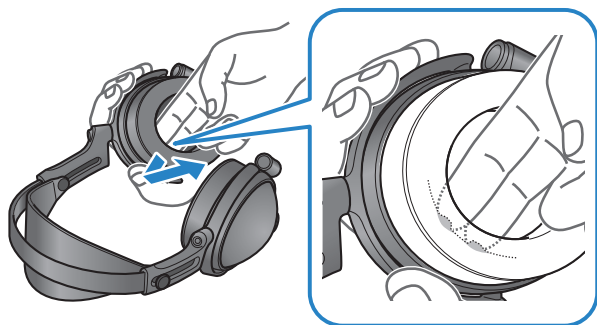
- イヤーパッドを取り外すときは無理に引っ張ったり、一部分のみ集中して強く引っ張ったりしないでください。イヤーパッド及びヘッドホン本体の破損の原因になります。
- イヤーパッドを取り外すときはイヤーパッドとヘッドホン本体の間に先のとがったものや硬いものを無理に差し込まないでください。イヤーパッド及びヘッドホン本体に傷がついたり破損したりする場合があります。
- イヤーパッドを交換するときは、ドライバーユニットや音響メッシュ部分を強い力で押したり、衝撃を与えたりしないようにしてください。破損の原因になります。

イヤーパッドを取り外した後の
ヘッドホン

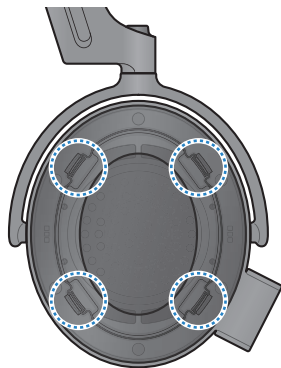


次の手順でイヤーパッドを交換します。

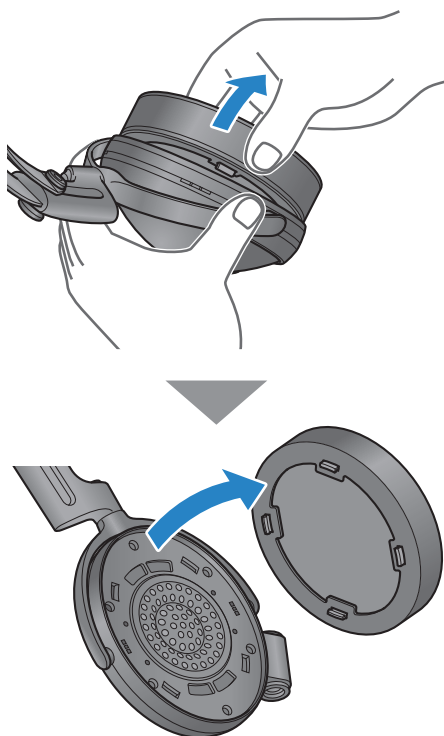
- 1** イヤーパッドの内側にある突起部分に指を引っ掛けてハウジング部分の外側に押し上げながらイヤーパッドを外す。



イヤーパッドを固定している突起部分は次の図のように4か所あります。



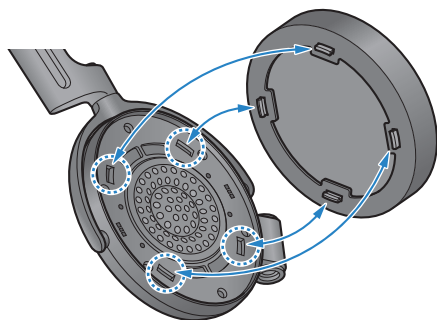
2 固定箇所が1か所外れたら、そこからすべての固定箇所を順に引っ張り、外す。



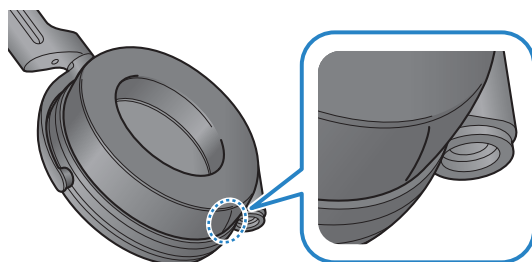
ご注意

- ドライバーユニット中央部には磁石が使われています。クリップやネジなど小さな金属物が入らないようご注意ください。故障の原因になります。
- ヘッドホンの内部にほこりなどが入らないようご注意ください。故障の原因になります。

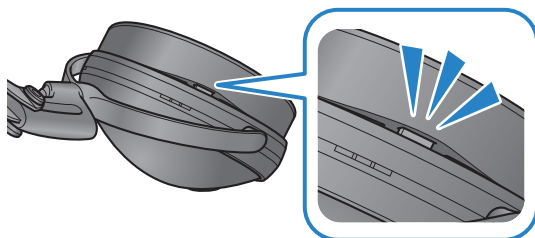
3 交換するイヤーパッドをハウジング内側の4か所ある固定箇所に合わせて。



イヤーパッドにはL、Rの差異はありません。側面に縫い目がある方が下になります。



4 4か所ある固定箇所すべてがしっかりとはまるように、イヤーパッドを押し込む。 イヤーパッドと本製品の接続部分を横から見て隙間があると、固定箇所がしっかりとハマっていない可能性があります。カチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。



ご注意

- イヤーパッドをヘッドホンに取り付けるときは、ドライバーユニットや音響メッシュ部分を強い力で押したり、衝撃を与えたりしないようご注意ください。破損の原因になります。
- 取り付け後はイヤーパッドを軽く引っ張って、簡単に外れないことを確認してください。確実についていないと、脱落したり音質に影響したりすることがあります。

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

© 2025 Yamaha Corporation

2025年10月発行 AM-B0

AV23-0079